

# 提言の骨子

一言に「労働力・人材の不足」といっても、その理由にはいくつかの要因が考えられる。

たとえば、鹿児島市は、2010年には高齢化率が21.2%と「超高齢社会」と呼ばれる水準に達している一方、他方において、若年層に目を向けてみると、進学や就職のタイミングで県外へ人材が流出してしまう傾向が変わらず見受けられており、これらの事情だけをもっても、鹿児島市の働き手が減少する一方であることは明らかである。

そのような現状において、私たちは、

①今ある労働力が十分に活用されているのか、②鹿児島市への移住を推進することはできないのか、③鹿児島市の未来を担う子ども達に鹿児島市で働く魅力を伝えられているのだろうか、という3つの視点に着目し、次の3つの政策を提言する。

## 提言.1

育休、産休を理由とした一時休職者が  
職場復帰しやすい環境を整備する。

## 提言.2

クリエイティブ人材に対する  
移住誘致事業を拡充する。

## 提言.3

世界に誇れる観光資源や  
農林水産に関する技術を継承していく風土を  
育むためのカリキュラム導入を推進する。

以下、各提言ごとに具体的な施策も含め詳述する。